

<p><b>【技術の名称】</b> TG-m 工法 —先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法— (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第14-31号 改2 性能証明発効日：2022年3月11日 性能証明の有効期限：2025年3月末日</p> <p><b>【取得者】</b> タイガー産業株式会社</p>
---	--

**【技術の概要】**

本技術は、鋼管の先端に独自形状の螺旋状の先端翼と掘削刃を有する杭状体を回転貫入し、これを杭状地盤補強材として利用する技術である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

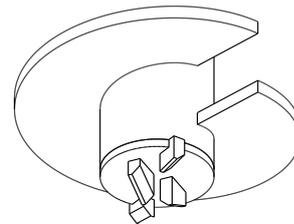


図1 補強材の先端形状

**【改定・更新の内容】**

- 新規：GBRC 性能証明 第14-31号 (2015年3月4日)  
改定1：GBRC 性能証明 第14-31号 改1 (2017年2月8日)
- 補強材仕様を追加 (軸部鋼管径 165.2mm 以下に対し、翼径仕様を追加)
  - 最大施工深さの規定を変更
  - 適用構造物の規定を追加
- 更新：GBRC 性能証明 第14-31号 改1(更1) (2020年2月3日)  
改定2：GBRC 性能証明 第14-31号 改2 (2022年3月11日)
- 異径鋼管接合用部品 (TG ジョイント) を追加
  - 本体軸部鋼管径を追加
  - 本体軸部鋼管および先端翼部それぞれの材質を追加
  - 適用構造物の規定を追加

表1 先端部とTG ジョイントの組み合わせ

本体部 軸径 D1	先端部			TG ジョイント*	備考
	先端部 軸径 D	翼径 Dw	翼軸径比 Dw/D		
76.3	89.1	240	2.69	①	改定2
89.1				無	
76.3	89.1	260	2.92	①	改定2
89.1				無	
76.3	101.6	260	2.56	②	改定2
89.1				①	改定2
101.6	101.6	300	2.95	無	
76.3				②	改定2
89.1	101.6	300	2.62	①	改定2
101.6				無	
89.1	114.3	350	3.06	②	改定2
101.6				①	改定2
114.3	114.3	350	2.50	無	
89.1				②	改定2
101.6	139.8	420	3.00	①	改定2
114.3				無	
139.8	139.8	400	2.42	②	改定2
101.6				①	改定2
114.3	165.2	500	3.03	無	
139.8				②	改定2
165.2	165.2	400	2.10	①	改定2
114.3				無	
139.8	190.7	450	2.36	②	改定2
165.2				①	改定2
190.7	190.7	500	2.62	無	
139.8				②	改定2
165.2	190.7	450	2.08	①	改定2
190.7				無	
139.8	216.3	500	2.31	②	改定2
165.2				①	改定2
190.7	216.3	500	2.31	②	改定2
216.3				①	改定2

\*TGジョイントを設置しない場合は無  
TGジョイントを設置して先端部軸径と本体軸径が1ランクサイズ違いは①  
TGジョイントを設置して先端部軸径と本体軸径が2ランクサイズ違いは②

**【本技術の問合せ先】**

タイガー産業株式会社 担当者：新里 優介  
〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎 12 番 11

E-mail : y-shinzato@tiger-sg.co.jp  
TEL : 098-982-1881 FAX : 098-982-1819